

友の会通信

2003

Vol.

9

～ 群馬県立自然史博物館友の会 ～



植物・岩石観察会:第四石門にて

友の会植物・岩石観察会 平成15年 7月 6日(土)実施

「初夏の妙義山 植物と奇岩を訪ねて」

昨年度に続き、フィールドに出て観察会を実施しました。今回は妙義山の石門や見晴台を中心に初夏の植物、妙義山の岩石や山の成り立ちを学習しました。参加者は16名とやや少なかったのですが、講師のかぶら理科研究会顧問の石井信弘・堀越武男両先生に植物と岩石・地質の話をつかがいながら楽しい観察会となりました。

最初に中乃岳神社駐車場で妙義山を眺めながら、植物や山の成り立ちの概略を話していただき、講師を先頭に石門へと向かいました。梅雨時期で天候が心配されましたが、曇天という好天?に恵まれ、気温が低く心地よい登山となりました。イロハモミジ、イタヤカエデなど多くのモミジ科の植物の葉の異なりやイヌブナとブナのちがい、ヤマアジサイやコアジサイの可憐な花を見たり、輝石安山岩・凝灰角礫岩の観察や輝石の採集など昼食をはさみながら専門性の高い学習ができました。右の写真は、岩壁に多く見られたイワタバコです。8月には可憐な薄紅色の花をつけていました。

観察コースは中乃岳神社駐車場 第一石門 第二石門 第四石門 見晴台 尾根 沢筋 中乃岳神社 駐車場でした。



第二石門のイワタバコ

参加者の声



70種類以上の植物の名と特徴を、実物を見ながら教えていただきました。

輝石の結晶を拾うことが出来た。

講師の説明が、分かり易かった。

多くの植物を説明いただけたのでよかった。

講師が先頭に立ち、登山道脇の木や草に名札をつけて下さったので、最後の人まで名前がわかってよかった

感想

詳しい樹木や植物を説明していただき、また小さな輝石を夢中になって探したりよく登る妙義山ですが、新たな楽しみ方を教えていただきありがとうございました。先生方が数回にわたり下見されたとお聞きしありがたかったです。

カラー刷りの美しいしおりをありがとうございました。講師の方の紹介文なども載せていただけたらうれしいです。

とても充実した観察会でした。また春や秋の妙義観察会を計画していただけたら、ぜひ参加したいです。この夏、家族をつれて、あのコースを、もう一度たどってみたいと思います。どこまで解説出来るか自信はありませんが、

今後の野外活動に、今回得たものを十分生かしたい。

《友の会展示解説会》に参加して 平成15年 3月22日(土) 講師:高桑祐司学芸員 参加者:21名

第18回企画展『ツノ出せ、ツメ出せ、キバを出せ』



博物館のイベントに家族そろって参加する内に、すっかりおなじみになった高桑学芸員さんによる解説会。今回も親子で参加できました。

『でんでん虫』の歌をもじったような企画展名にもあるツノ・ツメ・キバたちがずらりと並ぶ会場内をひとつひとつ丁寧な説明を聞きながら進むにつれ、それらの形や模様にも強きつれられていくのを感じました。極めつけはイッカク、これこそ今回私が一番楽しみにしていたものですが、その長く伸びた歯の美しさと全身骨格のダイナミックさは期待をはるかに上回るものでした。解説によれば、イッカクはメスを巡り他のオスと戦うために、このキバを使うが、いわゆるチャンバラをするのみで、決して相手を突き殺すことはないといふます。

それぞれ環境や生態に応じて異なる

進化をどげ、形先変わっていったというツノ・ツメ・キバ。現代の人間をみると、ヒラ爪のみを持ち、戦いとはおおよそ縁のない方向へ進化したように見えるのに、実際はツノ・ツメ・キバに替わる道具を作り、同じ仲間ですえ殺す生き物になってしまったのは、いったいどうしたことが??? ぶと、そんなことを考えさせられた企画展でした。

北川 真理子(会員番号15-503)

シカやウサギのツノの種類がこんなにたくさんあるとは思っていませんでした。そして水牛の黒いツノが欲しくなりました。自分の頭につけたらカッコウ良さそうです。イッカクの長いとんが、ぼくはツノだと思っていたけれど、歯の一つが伸びた物だと初めて知りました。この解説会に参加してみて、たくさんを知ることができたので良かったです。

北川 道啓(会員番号15-505 11歳)

第19回企画展 『ファール昆虫記の世界』

日本人にはとてもなじみの深い「ファール昆虫記」に登場する主な虫たちの生態を、標本と写真で紹介したのが、第19回企画展でした。この展示解説会では、ファールの興味を引いたフンコロガシや単独生活をするハチの生態、またヤママユやミソバチ、サソリなどの生体展示について、企画展主担当の高橋指導主事が詳しく解説してくれました。



会員の声



5月2日、博物館の室外にてニュートンのリンゴの花とつぼみ、および若葉を見ました。丁度よい時期でした。あれが、約300年前に、あの偉大な物理学者が見て万有引力の法則の発見のきっかけとなったリンゴの木の子孫だったのですね。当地ではリンゴの花を見る機会はありません。(ヒメリンゴやコリンゴの花は見た記憶があります。)リンゴの花の咲く頃、産地へ行く機会がありませんので、遠くから見た記憶がいくつかあるだけで、近寄って見るのは初めてでした。県北へ行く機会を作って栽培種の花を見てこようと思っています。次は実を見てみたいと思っています。
堀口 忠男(会員番号 15-064)

電柱の頂から、ツバメの巣のヒナをねらっているカラスに、十数匹のツバメが集団となって攻撃(空中戦)した。衆寡敵せずカラスはヒナの補食をあきらめて退散した。ツバメの団結力と防衛力に驚いた。(昨年自然観察から) 大山 隆昌(会員番号 15-009)

友の会のフィールドワーク(初夏の妙義山)の時のことですが、ゴミを拾いながら歩く浅香さんを見習いたいと思いました。グッショリぬれたテッシュのかたまりを素手で拾う浅香さん、ビニールいっぱいのゴミをリュックにしまい込む浅香さんに感動しました。
『どうして、こんな所に、捨てるのかな』と言いつつ通り過ぎるのは、やはりいけませんよね。 参加者より



友の会 講演会 平成15年 5月11日(日)
講師:高桑祐司学芸員 参加者30人

テーマ『ウインタテリウムとその時代を探る』

第18回企画展『ツノ出せ、ツメ出せ、キバを出せ』の主担当の高桑学芸員に、講師をお願いしました。この企画展を代表する展示物の一つがウインタテリウムであることから、ウインタテリウムのからだの特徴や生きていた時代の地球環境を紹介しました。更に、環境変動をもたらしたと考えられる説の一つをわかりやすく解説してくれました。

自然だより

～初見・初聞・開花～

生物名	分類	観測日	観測場所	観測者
ウグイス	初音	3月10日 14:00	高崎城山小付近	大山 隆昌
ツバメ	初見	3月13日 17:40	新前橋駅ホーム	北爪 二郎
ツバメ	初見	4月 3日 15:00	高崎城山県営住宅付近	大山 隆昌
ニュートンのりんご	開花	4月25日 9:00	自然史博物館	館職員

コメント

ウグイスの初音を聞くたび、始祖鳥の鳴き声?に思いをはせる今日この頃です。 大山 隆昌(会員番号 15-009)

※友の会では、みなさまからの自然だよりをお待ちしております。



平成15年度「友の会総会」開催

5月11日(日) 参加者30名

平成15年度の総会が、5月11日の午後2時から学習室で行われました。原会長をはじめ、多くの役員の方が出席し、昨年度の事業報告や決算報告、今年度の事業案や予算案を審議し、決定しました。冒頭のあいさつでは、会長から「会員の自然史に関する知識や関心がますます高まるよう、友の会活動を発展させるとともに、会員相互の親睦を深めていくこと」と「博物館活動を支援していくこと」の2点が強調されました。

平成15年度役員

会 長	原 浩一郎	運営委員	市川 悦老	大工原美智子	顧 問	横田 英一
副 会 長	川原 英雄		横田 衛	剣持 雅信	事 務 局	青木 道雄
	池下 隆雄		森平 利政			佐藤 忍
監 事	山田 利和		角田 寛子			三田 照芳
	堀越 友子					柚木 郁



友の会 11月16日(日) 視察研修旅行へ参加しよう!

今年度の『友の会視察研修旅行』は、栃木県の博物館に決定しました。「栃木県立博物館」と「木の葉化石園」です。募集案内を配布しますので、案内が届きましたら、ぜひお申し込み下さい。募集人数は44名です。

視察先

栃木県立博物館・・・栃木県の誇る総合博物館。栃木の山や川、多種多様な動植物の世界、その豊かな自然を背景に築かれてきた人々の暮らしや、受け継がれてきた文化遺産など、貴重な資料が展示されている。

木の葉化石園・・・約30万年前の古塩原湖に堆積した動植物の化石が園内の敷地で採掘される。園内には昆虫や魚、木の葉などの化石600点、鉱物400点を展示。生々しく姿形が残っているため、見学すれば感心することも。自分で化石を見つける楽しみを体験できる「化石の原石」を袋に詰めた物も販売している。

期 日 平成15年11月16日(日)
大型バスで行うツアーです。



新出版物の紹介

目玉で販売中



「ファール昆虫記の世界」
第19回企画展図録
一般 500円 会員 450円



「きせかえムシ」
第19回企画展を支援するため友の会にて印刷し販売委託している商品です。
70円



編集後記

博物館が好きな人の組織が友の会。でも、会員登録だけでなく、お互いのつながりが持てこそ「会」です。友の会が開催する各種の催しと、友の会通信が、会員相互のつながりをつくる場といえるでしょう。最近では、「会」の主催行事も増え、内容もご要望に応じて企画したものが多くなってきています。参加希望者が多くて、うれしい悲鳴があがり、次号の友の会通信には、記事があふれそうになることを期待しながら、梅雨明け翌日の8月3日、9号の編集を終了しました。
角田寛子(友の会通信編集委員)

会員名簿

家族会員	中村 彰男	村木とみ子	松本 秀彦	児玉 一恵	徳江 紀	初山 道弘	伊勢川 聡	大沢 勝美	岸田 浩	竹沢 徹
	小材 幸雄	岡野 弘行	阪本 俊英	遠藤 一誠	齊藤由紀子	神宮 宏	大地 孝幸	熊田 孝幸	吉田 満	岡野 宏巳
	佐藤 功子	石原 清和	佐藤 和博	今井 誠司	柳沢 悟	町田 稔生	高橋 仁	武元 憲一	飯塚 広之	新藤 正
	児玉太郎彦	小野田亮一	石原 勉	友成 徹	金井 光康	湯沢 範道	岩井 実	石井 陽子	三田 孝幸	吉満 優信
	佐藤 淳	大工原 豊	尾崎 剛	黒瀬 健一	青木 道雄	小見 睦美	佐藤 薫	田村 佳美		
個人会員	佐藤 七三	大山 隆昌	小暮 市郎	剣持 雅信	町田 恵子	山下由紀子	森屋 弘一	寺崎 廣	市川 浩也	岡田 健美
	松井 純孝	高橋 陸夫	堀口 忠男	三友 賢一	馬場 健司	阿久津堯一	浦野有紀子	諸田 博信	白石 雄一	今井 英巳
	中沢 満	茂木 照弘	田島 祐実	鈴木 弘一	大塚 隆幸	下 幸夫	本井 英次	神尾 雅子	金子 正明	熊田 浩生
	阿部 勝次	両角 逢夏	大塚 稜也	蜂須賀克明	島田 恵子	松元美由紀	森平 利政	神宮司洋一	堀越 武男	須藤 修司
	高橋 昇	富岡 清	堀越 友子	齋藤紀恵子	高橋 睦子	市川美枝子	飯塚 幸枝	飯塚 正明	高橋 早苗	黒沢一二三
	市川 文子	渡邊 和文	茂木 栄子	丸山千鶴子	佐藤真理子	飯塚 淳子	中島トヨ子	清水 孝頼	北爪 二郎	四十万智博
	角田 寛子	大井田美紀	萩 敏江	深沢 伸雄	石黒 協	小堀 法子	富樫 敬悟	清水 秀夫	堀越みな子	野口とし子
	清水亜紀子	安類 智仁	菊池 晶子	中澤 久示	伊部臣一郎	高橋 明子	徳田 健一	依田 哲夫	神宮 正美	清水 憲子
	佐藤真由美	由田 君代	湯浅 利代	吉田サカ江	須賀 裕子	須賀 弘典	村山 忠雄	井伊美由紀	西澤 章	浅井絵里子
	原沢 好夫	香川 清志	清水 紀子	吉田 計人	田村 栄夫	平川 卓也	関 栄	野口 実	浅香 勇二	飯箸 章子
	鈴木 貢子	山口 秀美	細野 美和	川上 敬子	佐藤 淳	高橋 幸枝	高地 朋見	高橋 孝太	館沢 礼子	宮前 和夫
賛助会員	横田 英一	市川会計事務所	富岡ロータリークラブ	池下 隆雄	川原 英雄	山 田 会 計	原株式会社	初山歯科医院	順不同	敬称略

平成15年8月11日現在